



D1
D1 GRAND PRIX
INTERNATIONAL DRIFT CHAMPIONSHIP

2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES
Round 1 & Ex. Maishima Sports Island D1 Special Venue

OSAKA in 舞洲スポーツアイランド DRIFT

2018. 3.31 SAT 4.1 SUN

開催報告書

開催概要

3月31日（土）・4月1日（日）の2日間、大阪府の舞洲スポーツアイランドにて2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.1 & Rd.2を開催致しました。2018年シリーズの開幕戦とあり、各選手の気合も見受けられました。2日間とも晴天で、春らしさ感じる中での開催となりました。無事にイベントを終えることが出来、みなさまの多大なるご協力に感謝致します。今後ともご支援ご協力のほど、宜しくお願い致します。

イベント名称	2018 OSAKA DRIFT	
開催日時	2018年3月31日（土）9：00～18：00 2018年4月1日（日）9：00～18：00	
開催場所	大阪府・舞洲スポーツアイランド	
競技会名称	2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.1 2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.2	
競技会格式	JAF公認準国内格式競技	
出演者	実況：鈴木学 MC：辻直樹 ゲスト：藤木由貴/ピストン西沢（日） イメージガール：D-LOVEits 市川愛/NRK the Hedgehog	
主催	株式会社サンプロス	
公式来場者数	3月31日（土）	4,548名
	4月1日（日）	5,237名
	2日間合計	9,785名



競技会結果

GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.1 単走競技

予選前の練習走行では、クラッシュが続出。末永（正）と小橋が、走行不能でリタイヤとなった。いっぽう、チャールズ、北岡、田所、ポン、高橋（和）らは、マシンのデビュー戦だったが予選を通過、今季の活躍を期待させる走りを見せた。中でも最高点をとったのはチャールズ。高い車速とするどい振りから、スムーズにドリフトをつなげて、唯一の99点台を獲得した。



単走決勝でも予選と同様、するどく振り出しつつ、その姿勢と車速を保ってドリフトを維持することが求められた。まずは最初に走った高橋（和）が、高い車速から流れのいいドリフトを見せ、98.85点という高得点をマークする。末永（直）が、全セッションでまんべんなく得点を稼ぐ走り、横井もキレのある振りりとスピードを維持した進入を見せて、それぞれ98点後半をマークしたが、高橋（和）を抜くには至らなかった。そして最後に走った藤野は、高い車速からいい振り出しを見せてコーナーに飛び込んだが、少しアウトに流され、コンクリートウォールぎりぎりまでアクセルが踏めない状況になってしまう。しかし、全体的に車速が高かったこともあって、それでも98.96点を獲得。高橋（和）を抜いて単走優勝となった。



単走決勝結果

Pos.	No.	Driver	Car	Score	Pos.	No.	Driver	Car	Score
1	66	藤野 秀之	RPS13	98.96	9	52	北岡 裕輔	JZX100	97.86
2	36	高橋 和己	JZX100	98.85	10	5	今前田 隆敏	S14	97.77
3	70	横井 昌志	S15	98.75	11	99	松川 和也	AE85	97.59
4	9	末永 直登	S15	98.72	12	6	内海 彰乃	S15	97.36
5	35	川畑 真人	R35	98.34	13	32	Pond	ZN6	97.16
6	15	植尾 勝浩	S15	98.22	14	7	松井 有紀夫	FD3S	96.92
7	45	畑中 真吾	JZX100	98.04	15	3	野村 謙	ER34	96.77
8	84	Charles Ng	RPS13	98.01	16	22	木口 健治	JZX100	96.42
▲ 追走決勝トーナメント進出(1本目上位8名) ▲					▲ 追走決勝トーナメント進出(2本目上位8名) ▲				
					17	43	田所 義文	AE86	96.28
					18	23	村上 満	S15	95.95
					19	75	平島 明	S15	24.31
					20	61	馮仁雅	S15	24.23
					21	60	今村 陽一	ZN6	RETIRE
					22	8	日比野 哲也	AP1	RETIRE
					23	77	岩井 照宜	NA6CE	RETIRE
					24	87	齋藤 太吾	X245A	RETIRE

GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.1 追走競技

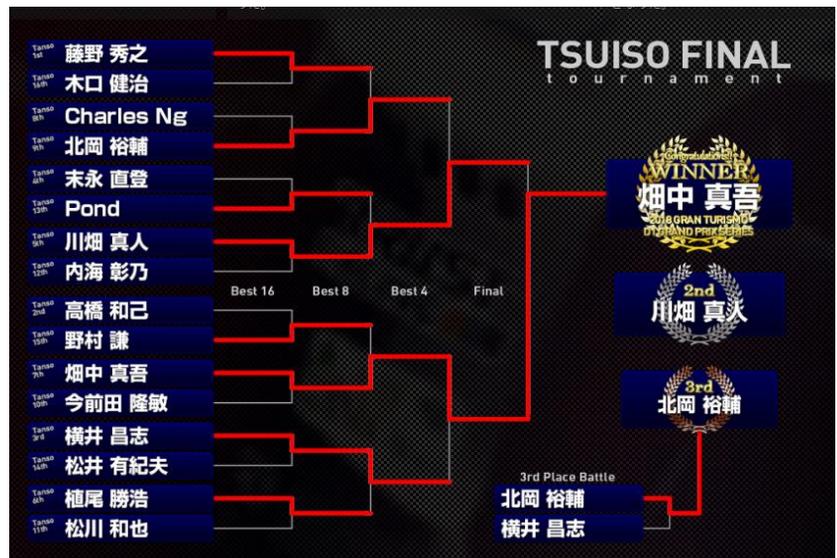
ベスト16では、ポンドの86が速さを見せつけ、後追いでは末永（直）との距離を詰め、先行では最後の第5セクターまで末永（直）は詰めさせず、ポンドが勝った。川畑vs内海の対戦は、内海が後追い時にコースアウトするなどのミスをして川畑が勝利。横井vs松井は、お互いに近いドリフトを見せたが、松井が先行時にインカットしたため、横井が勝った。ベスト8ではオーバースピードで進入した藤野がコンクリートウォールにぶつかりそうになって失速し、北岡が勝利。横井vs植尾の対戦は植尾にインカットがあったこともあって横井が勝った。



ベスト4に勝ち上がったのは、北岡、川畑、畑中、横井。北岡vs川畑の対戦は、まず川畑が近いドリフトを見せて0.5のアドバンテージを獲得する。2本目は先行の川畑がいい走りを見せて、北岡が近づけず、川畑が勝った。畑中vs横井の対戦は、1本目に後追いの横井が近いドリフトを見せつつも、コースからはみ出すなどのミスもあって畑中アドバンテージ。2本目も畑中は大きなミスをせず、畑中が勝った。なお、3位決定戦は1本目の走行で横井がホイールを割ってしまい、2本目の前に交換したことでルールによりマイナス2ランクのペナルティを受け、北岡が勝った。



決勝は川畑vs畑中。1本目は川畑が先行。いい走りを見せた川畑に対し、畑中は寄せられない。判定はイーブン。そして畑中先行の2本目、川畑は駆動系のトラブルを起こし、コーナーに入ってもドリフトできず、畑中の初優勝が決まった。



GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.2 単走競技

金曜日、土曜日に大きなクラッシュをした齋藤（太）と日比野、岩井らが出走できなかったほか、この第2戦の予選でもクラッシュが頻発した。林と平島が1本目の走行でクラッシュし、走行不能になってリタイヤ。2本目も走れたものの、今前田がテールを損傷、内海もフロントをヒットさせた。しかし、今前田はテールをヒットさせてウイングがとれたことが結果的に功を奏し、2本目はスパッと振り出すことができ、そこからいち早くアクセルONにするドリフトで99.12点を獲得し、トップ通過を果たした。また、金曜日の練習走行でクラッシュしたことにより第1戦はリタイヤしていた小橋と末永（正）は、この日まではマシンを修復して出走し、小橋はDグループ1位、末永（正）はDグループ2位で追走進出を決めた。



第2戦の単走決勝にもなると、多くの選手が走りかたをつかんできた。1コーナー飛び込みであり無理をせず、きれいに姿勢を作ってスムーズに第2セクターの旋回へとつなげる走り、あぶなげなく98点をこえてみせる選手が増えた。いっぽうで、あいかわらず1コーナー飛び込みでいったん姿勢を作ってからフロントが流れて姿勢がもどることで減点をされる選手も少なからずいた。

そんななか、10番目に走った末永（直）が、するどい振りのドリフトを見せ、旋回区間での振られもあったものの、99.11点という高得点でトップに立つ。すると松井が手前めから振りつつも、安定した姿勢をきっちり作って、車速を維持して旋回し、99.30点で末永（直）を抜いた。



そして前日の単走優勝者・藤野が出走。するどい振りからドンピシャの距離感でコーナーに入り、99.48点をマーク。この日もトップに立った。しかし、最後から2番目に走った川畑が、豪快な振りから大きな角度をつけたまま、パワーを生かして振られることなく旋回していき、ただひとり100点を超える、100.52点を叩き出し、単走優勝を決めた。



単走決勝結果

Pos.	No.	Driver	Car	Score	Pos.	No.	Driver	Car	Score
1	35	川畑 真人	R35	100.52	9	52	北岡 裕輔	JZX100	99.10
2	66	藤野 秀之	RPS13	99.48	10	4	小橋 正典	S15	98.38
3	45	畑中 真吾	JZX100	99.30	11	28	時田 雅義	ZN6	98.23
4	7	松井 有紀夫	FD3S	99.30	12	60	今村 陽一	ZN6	98.15
5	39	末永 正雄	R35	99.17	13	5	今前田 隆敏	S14	97.75
6	15	植尾 勝浩	S15	99.14	14	81	唄 和也	RPS13	97.54
7	9	末永 直登	S15	99.11	15	84	Charles Ng	RPS13	97.41
8	70	横井 昌志	S15	99.07	16	30	中田 哲郎	JZX100	97.11

▲ 追走進出トーナメント進出(1本目上位8名) ▲

▲ 追走進出トーナメント進出(2本目上位8名) ▲

競技会結果

GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.2 追走競技

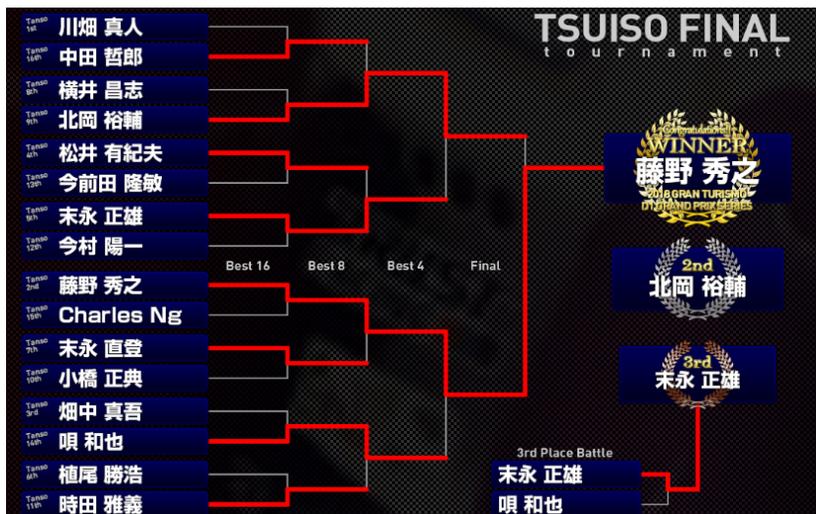
ベスト8では末永(正)と対戦した松井が、先行時にオーバースピードでクラッシュ。末永(正)が勝った。藤野vs末永(直)は、藤野先行時は末永(直)が寄せられず、末永(直)先行時は藤野が近いドリフトを見せて藤野が勝った。



ベスト4に勝ち上がったのは、北岡、末永(正)、藤野、唄。まず北岡と末永(正)が対戦した。1本目に後追いの末永(正)は、1コーナー飛び込みで近い位置につけたが、アンダーステアを出してしまい、それが決め手となって北岡が勝った。藤野vs唄は、藤野先行時にインに入りきれなかった唄に対し、藤野はきれいに寄せて藤野が勝った。



決勝は北岡vs藤野。1本目は北岡が先行。藤野は少し浅めの角度で距離を詰めたあと、きっちり角度を合わせつつ北岡のインに入り、きれいな接近ドリフトでアドバンテージを獲得する。2本目の藤野先行時には、北岡はストレートで離されて距離を詰められず、藤野が勝った。藤野はタイヤの温存に成功し、決勝にフレッシュタイヤで臨めたのに対し、北岡は準決勝までにフレッシュタイヤを使い切り、中古タイヤで走ったのが大きな差となった。



イベント風景

OSAKA DRIFT

in 舞洲スポーツアイランド

2日間とも天候に恵まれ、出展エリアも賑わいを見せました。

各出展者ブースには車両展示も多数あり、写真をとる姿が見受けられました。珍しい「洗車ソムリエ」パフォーマンスの披露は、お客さんの注目を集めました。



露出報告

OSAKA DRIFT

in 舞洲スポーツアイランド

2/10~2/12 大阪オートメッセ



2/24~2/25 名古屋オートトレンド



シリーズ開幕戦をPR 公式イメージガールが来社



「D1グランプリ」シリーズ開幕戦をPRする
D1グランプリシリーズ開幕戦をPRする
デザイナーの市川さん(左)と市川さん(右)の二人が来社した。

「D1グランプリ」シリーズ開幕戦をPRする
D1グランプリシリーズ開幕戦をPRする
デザイナーの市川さん(左)と市川さん(右)の二人が来社した。

3/19 メディアキャラバン



「D1グランプリ」シリーズ開幕戦をPRする
D1グランプリシリーズ開幕戦をPRする
デザイナーの市川さん(左)と市川さん(右)の二人が来社した。

「D1グランプリ」シリーズ開幕戦をPRする
D1グランプリシリーズ開幕戦をPRする
デザイナーの市川さん(左)と市川さん(右)の二人が来社した。

「D1グランプリ」シリーズ開幕戦をPRする
D1グランプリシリーズ開幕戦をPRする
デザイナーの市川さん(左)と市川さん(右)の二人が来社した。

「D1グランプリ」シリーズ開幕戦をPRする
D1グランプリシリーズ開幕戦をPRする
デザイナーの市川さん(左)と市川さん(右)の二人が来社した。

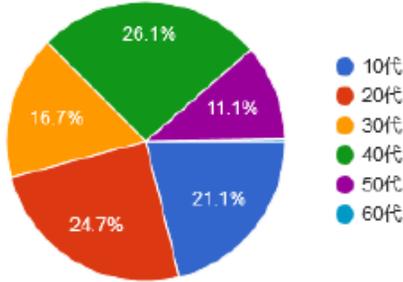
今年度より実施しておりますYou Tubeは面倒な登録がなく、気軽に見ることができることから、幅広い方に利用しやすくなりました。You Tubeライブでは企業CMを入れたり、御社の商品を紹介することも可能です。ぜひともご活用下さい。

	3/31 (土)	4/1 (日)
総再生時間(分)	15,027	13,495
最大同時接続者	1,621	1,729
平均視聴時間	17分	26分
視聴回数	52,803	30,575
高評価数	612	315
総視聴国	87ヶ国	74ヶ国
チャットメッセージ	6,845	4,288
性別		
男性	97%	96%
女性	3%	4%
年齢		
13～17	11%	10%
18～24	24%	23%
25～34	30%	28%
35～44	24%	24%
45～54	11%	14%
55～64		1%

来場者アンケート

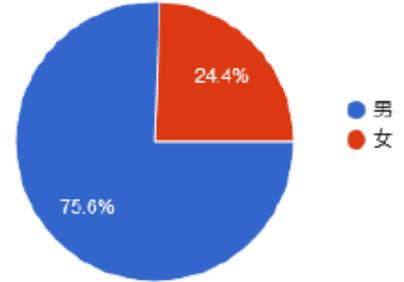
年齢

360 件の回答



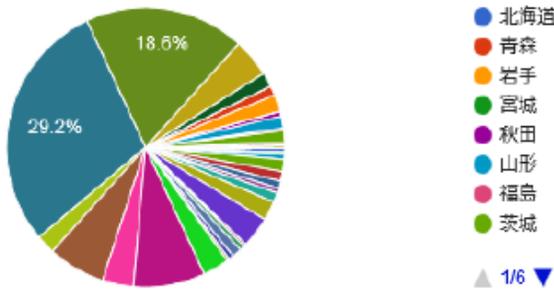
性別

360 件の回答



本日はどこから来ましたか？

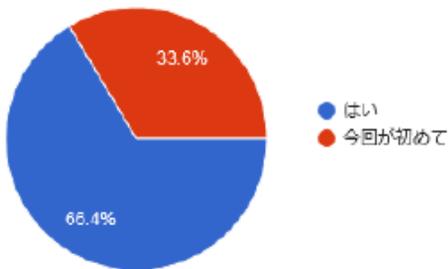
360 件の回答



大阪	105	群馬	3
兵庫	67	埼玉	2
愛知	30	山形	2
滋賀	24	長野	2
奈良	16	徳島	2
三重	13	福井	2
神奈川	13	北海道	2
静岡	11	愛媛	1
京都	8	岐阜	1
東京	8	宮城	1
広島	7	大分	1
和歌山	6	富山	1
茨城	5	福岡	1
香川	5		
高知	5		
岡山	4		
山梨	4		
千葉	4		
栃木	4		

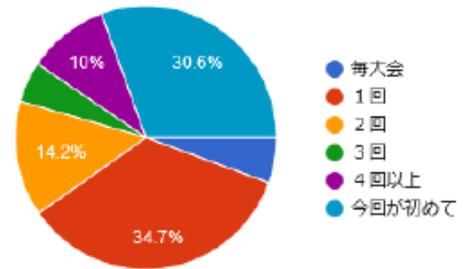
過去のD1GPを観戦したことがありますか？

360 件の回答



あなたは年間何回来場しますか？

360 件の回答



2020年オリンピックイヤーに20周年を迎える「D1 GRAND PRIX」



三栄書房グループ
株式会社サンプロス D1 事業部
東京都新宿区新宿6-27-30 新宿EAST SIDE SQUARE 7階

SUNPROS Co.,Ltd.
Shinjuku-Eastside-Square 7F, 6-27-30, Shinjyuku-Ku, Tokyo 160-0022 Japan
P. (+81) 03-5287-2939 www.D1GP.co.jp